

【家族会ごあいさつ】（令和5年12月17日）

皆様、こんにちは、麻布慶福苑 施設長の鈴木です。

前回、開催した家族会は2年前の令和3年の12月でした。

慶福苑では、本来、年2回の家族会開催という計画でしたが、コロナ禍の影響が続き計画とおりの開催ができていなくて大変申し訳ございませんでした。

また、本日は、このようにたくさんのご家族の参加をいただく中、狭い場所での会場になりました。

大変申し訳ございません。

さて、今年は、春・夏・秋・冬という日本の四季が感じられず、とても暑い日が続き、春と秋の短い一年でした。

昨日も、12月としては、日本の観測史上初めてとなる夏日が観測されました。これは、日本だけでなく世界中でも、地球温暖化という言葉から地球沸騰化と騒がれました。

新型コロナウイルスもようやく5類となって落ち着きましたが、それまでは、面会の制限などでご家族の皆さんともなかなかお会いすることができず入所者様の健康とストレスが心配でした。

また、今月になってノロウィルスの感染者もあり、さらに面会の制限をいたしました。先週の金曜日には全面解除といたしました。

施設内では、コロナも発生していませんので、危機管理対策委員会を開催し、

来年1月4日からは、出来るだけフリーとする予定で職員と協議いたしております。

これで、4年ほど中止していましたが、ご家族様のフリーでの面会やご一緒での外出、ボランティアの受入れ、けいふく祭、敬老会、お月見、食事会、文化祭、クリスマス会、餅つきなどのご家族参加もでき入所者のストレスも解消されるものと考えております。

ただし、当面は、面会と外出は、午後2時から5時を予定しております。

次に、コロナ前から行われている慶福苑の内部改修工事についてです。

エレベーター増設工事から始まって、居室の一部プライベート化、雑排水管更新工事、衛生機器の更新工事と進めて、今年の3月に終わりました。

麻布慶福苑は、平成4年5月6日に港区からの要請により民間の特養では、港区内で最初となる施設として開設いたしました。開設後、32年が経過し、建物も設備も老朽化してまいりました。

当時の特養は、介護度が1～5までの方が入所できる施設でしたが、平成27年度から特養に入所できる方の要件が介護度3～5の方に変わり、重度の入所者が増えました。当時と比較すると車椅子の方、入浴や食事介助、排泄介助など職員の負担も相当の負担となっております。

車椅子トイレの入口は幅が狭く、お一人で利用できる方もなかなか便器に座るまでが大

変だったので、入り口を拡大しました。また、洗面台も車椅子利用者でも利用できるようにしました。

また、4人用居室の一部は、カーテンで仕切る仕様でしたが、個人のプライバシーが図れるよう、隣の方と木製の扉で仕切ってプライバシーを守れるよう改修しました。

麻布慶福苑は、24時間365日休むことなく運営している施設ですので、工事が終わるまで、約4年間かかりました。

長期間にわたり、ご不便とご迷惑おかけしました。

本日は、私その他、副施設長、事務長、各フロアの介護主任、看護主任、管理栄養士、相談員、介護支援専門員の出席しております。

1時間と短い時間ですが、時間の許す限る活発なご意見を伺わせてください。

ありがとうございました。

麻布慶福苑 施設長 鈴木英二